

2023年10月19日

「さんふらわあ しれとこ」で曳航救助訓練を実施

～第一管区海上保安本部と合同で実施～

株式会社商船三井さんふらわあ（社長：牛奥博俊、本社：東京都千代田区）は、10月16日、当社フェリー「さんふらわあ しれとこ」（総トン数：11,410ト）を使用し、第一管区海上保安本部（以下、「海上保安部」）と合同で曳航救助訓練を実施しました。

今回の訓練では、海上保安部の巡視船艇4隻・ヘリコプター1機、北海道防災航空隊のヘリコプター1機が参加し、曳航救助訓練の他、放水消火、傷病者救助、吊り上げ救助訓練等を実施しました。

当社は今後も関係各所との連携強化を図るとともに、お客様に安心してご乗船いただけるサービスの提供と安定的な貨物輸送を目指し、安全対策に積極的に取り組んでいきます。

<訓練想定>

苫小牧港沖を航行中の旅客船が機関故障により自力航行不可となり、海上保安庁に救助を要請

<参加機関>

第一管区海上保安本部（主催）、室蘭海上保安部、釧路海上保安部、苫小牧海上保安署、函館航空基地、釧路航空基地、株式会社商船三井さんふらわあ、苫小牧港開発株式会社、北海道総務部危機対策局危機対策課防災航空室（北海道防災航空隊）、航空自衛隊第2航空団



巡視船「えりも」側の曳航索（註）準備の様子



曳航索で結ばれる巡視船と「さんふらわあ しれとこ」



巡視船が「さんふらわあ しれとこ」を曳航

(註) 船を曳航する際に使用する強度のあるロープ